

別紙⑥_国点検調書参考様式

様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	施設ID
(フリガナ)				経度	
管理者名	路下条件		代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式	下部構造	基礎構造
			上部構造		

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

技術的な評価結果	定期点検実施年月日		定期点検者				
	想定する状況						
	活荷重	地震	豪雨・出水	その他			
橋(全体として)					()		
上部構造		写真番号		写真番号	写真番号	()	写真番号
下部構造		写真番号		写真番号	写真番号	()	写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号	写真番号	()	写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号	写真番号	()	写真番号
その他(伸縮装置)		写真番号		写真番号	写真番号	()	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側

終点側

概ねこのセル枠内の上に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)て下さい)

なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。

また、画像のオブジェクト名を「全景写真」として下さい。

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	0	定期点検実施年月日	0	定期点検者	0	0
構成要素		構成要素				
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態		
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真01(数字は半角)」として下さい。</p>						
写真番号	1	径間		部材番号		
備考	(適宜、特記事項など)					
構成要素		構成要素				
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態		
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真02(数字は半角)」として下さい。</p>						
写真番号	2	径間		部材番号		
備考	(適宜、特記事項など)					
構成要素		構成要素				
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態		
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真03(数字は半角)」として下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真04(数字は半角)」として下さい。</p>						
写真番号	3	径間		部材番号		
備考	(適宜、特記事項など)					
写真番号	4	径間		部材番号		
備考	(適宜、特記事項など)					

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	0	定期点検実施年月日	0	定期点検者	0	0	
構成要素		構成要素					
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態			
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい)</p> <p>なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真05(数字は半角)」として下さい。</p>		<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい)</p> <p>なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真06(数字は半角)」として下さい。</p>					
写真番号	5	径間	部材番号	写真番号	6	径間	部材番号
備考	(適宜、特記事項など)			備考	(適宜、特記事項など)		

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	0	定期点検実施年月日			0	定期点検者	0	0	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造	—	—	—	—	—	—				
下部構造	—	—	—	—	—	—				
上下部接続部	—	—	—	—	—	—				
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—				
その他(伸縮装置)	—	—	—	—	—	—				

(適宜、所見を記入)

所見

様式 1

■定期点検記録様式 トンネル変状・異常箇所写真位置図						定期点検年月日			施設ID				
フリガナ 名 称			路線名		管理者名				定期点検 実施者			起点	緯度
													緯度
所在地	自			トンネル工法			トンネル延長	L=	m	自専道 or 一般道	代替路の有無		緯度
	至			建設年度			幅員	L=	m				緊急輸送道路
トンネル毎 の健全性の 診断の区分		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ		Ⅲ		IV	附属物等 の取付状態		○ (応急措置後)	
漏水				Ⅱ		Ⅲ		IV	○				
外力				Ⅱ		Ⅲ		IV	×				
トンネル 変状・ 異常箇所 写真位置 図													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">写真番号の記載例</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">本体工の変状 : 写真 - 【覆工スパン番号】 - 【変状番号】</div> <div style="width: 45%;">注1 : 本位置図は、見下された状態で記載すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">附属物等の異常 : 写真 - 【覆工スパン番号】 - 【異常番号】</div> <div style="width: 45%;">注2 : 覆工スパン番号は横断目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断目地毎)に設定すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注3 : 写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注4 : 横断目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注5 : 1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注1 : 本位置図は、見下された状態で記載すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注2 : 覆工スパン番号は横断目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断目地毎)に設定すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注3 : 写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注4 : 横断目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;">注5 : 1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。</div> </div>									

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 トンネル本体工の変状に対しては、措置の必要性(Ⅱ～Ⅳ)について表記すること。また、点検前に実施された措置によりIと判定された箇所についても記載すること。

※3 附属物等の取付状態の○欄については、応急措置前に判定区分×とした箇所のうち応急措置により○判定とした箇所の数を記入すること。

※4 附属物等の異常番号は、本体工と番号が重複しないよう101番以降とする等の配慮を行い、分かりやすく記録すること。

■定期点検記録様式 変状写真台帳

施設ID							
フリガナ 名 称		路 線 名		定期点検実施者		定期点検年月日	
		管理者名					
写真 番号	覆工スパン 番号			写真 番号	覆工スパン 番号		
	変状番号				変状番号		
変状 部位	対象箇所			変状 部位	対象箇所		
	部位区分				部位区分		
変状種類				変状種類			
判定 区分	変状区分			判定 区分	変状区分		
	応急措置前				応急措置前		
	応急措置後				応急措置後		
変状の発生範囲及び規模		前回変状の発生範囲及び規模		変状の発生範囲及び規模			前回変状の発生範囲及び規模
対策履歴		実施状況(実施日)		対策履歴			実施状況(実施日)
メモ				メモ			
写真 番号	覆工スパン 番号			写真 番号	覆工スパン 番号		
	変状番号				変状番号		
変状 部位	対象箇所			変状 部位	対象箇所		
	部位区分				部位区分		
変状種類				変状種類			
判定 区分	変状区分			判定 区分	変状区分		
	応急措置前				応急措置前		
	応急措置後				応急措置後		
変状の発生範囲及び規模		前回変状の発生範囲及び規模		変状の発生範囲及び規模			前回変状の発生範囲及び規模
対策履歴		実施状況(実施日)		対策履歴			実施状況(実施日)
メモ				メモ			

※ 健全性（応急措置後）の判定区分Ⅱ～Ⅳについて添付すること。また、点検前に実施された措置によりⅠと判定された箇所も添付すること。

※ たたき落としを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

※ 応急措置を実施しないで判定した変状の判定区分は、判定区分の応急措置後の欄に記入すること。

■定期点検記録様式 健全性の診断の区分に関する所見

施設ID	
フリガナ	
名 称	路線名
	定期点検実施者
	定期点検年月日
道路トンネルの健全性の診断の区分の所見	

定期点検記録様式 (1)ロックシェッド・スノーシェッド

様式1(1)

施設名・所在地・管理者名等

施設名	路線名	所在地	起点側	施設ID	
				緯度	経度
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占有物件(名称)

部材単位の診断

定期点検者				
部材名	区分 (I ~ IV)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるよう に記載)	特記事項 (第三者被害の可能性に対する応急措置の実施の有無等)
上部構造	頂版			
	主梁			
	横梁			
	壁・柱			
下部構造	受台			
	底版・基礎			
支承部				
その他				

施設毎の健全性の診断(区分 I ~ IV)

(区分)	(適宜、所見を記入)	全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
(所見等)		建設年度	延長	幅員	構造形式

※建設年度が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(変状状況)

- 区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
- 写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造()【区分: 】	下部構造()【区分: 】
支承部【区分: 】	その他【区分: 】

定期点検記録様式 (2)大型カルバート

様式1(2)

施設名・所在地・管理者名等

施設名	路線名	所在地	起点側	施設ID 緯度 経度
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
				占有物件(名称)

部材単位の診断

部材名	区分 (I ~ IV)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるよう に記載)	定期点検者	特記事項 (第三者被害の可能性に対する応急措置の実施の有無等)
カルバート本体					
継手					
ウイング					
その他					

施設毎の健全性の診断(区分 I ~ IV)

(区分)	(適宜、所見を記入)	建設年度	延長	幅員	構造形式
(所見等)					

※建設年度が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(変状状況)

○区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

カルバート本体()【区分: 】	継手()【区分: 】
ウイング()【区分: 】	その他【区分: 】

横断歩道橋名・所在地・管理者名等

横断歩道橋名	路線名	所在地		設置位置	緯度	施設ID
(フリガナ)					経度	
管理者名		代替路の有無	緊急輸送道路	占用物件(名称)		

横断歩道橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分

横断歩道橋諸元

架設年度	橋長	通路幅員	横断歩道橋形式

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日	定期点検者		
	想定する状況			
	活荷重	地震	その他	
横断歩道橋 (全体として)			()	
上部構造		写真番号	写真番号	() 写真番号
下部構造		写真番号	写真番号	() 写真番号
上下部接続部		写真番号	写真番号	() 写真番号
階段部		写真番号	写真番号	() 写真番号
他の接続部		写真番号	写真番号	() 写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号	写真番号	() 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<u>起点側</u>	_____
------------	-------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		構成要素の状態
写真番号 備考	1 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考
想定する状況		構成要素の状態		2 構成要素
				想定する状況
写真番号 備考	3 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考
想定する状況		構成要素の状態		4 構成要素の状態

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者	
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		想定する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	5 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	6 構成要素
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況	
写真番号 備考	7 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	8 構成要素

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者	
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		想定する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	9 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	10 構成要素
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況	
写真番号 備考	11 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	12 構成要素
想定する状況		構成要素の状態			
写真番号 備考	11 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	12 構成要素
想定する状況		構成要素の状態			

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者	
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		想定する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	13 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	14 構成要素
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況	
写真番号 備考	15 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	16 構成要素

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者	
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		想定する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	17 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	18 構成要素
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況	
写真番号 備考	19 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	20 構成要素

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		施設ID	定期点検実施年月日	定期点検者	
想定する状況	構成要素の状態	構成要素		想定する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	21 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	22 構成要素
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況	
写真番号 備考	23 構成要素	径間	部材番号	写真番号 備考	24 構成要素

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

点検DB登録用

	施設ID		定期点検実施年月日		定期点検者	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)			健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)	
	塩害	防食機能の低下	その他			
上部構造						
下部構造						
上下部接続部						
階段部						
その他の接続部						
その他(フェールセーフ)						

所見	(適宜、所見を記入)
----	------------